

そと はな

ペットを外に放さないで



このカメを知っていますか？

「アカミミガメ」といい、現在、日本で

いちばんかず おお
一番数が多いカメです。

よ
※「ミドリガメ」とも呼ばれています。

もともとはアメリカ南西部にいて、日本にはいませんでしたが、1950

ねんだい ゆにゆう はじ ぜんこく ひろ
年代からペットとして輸入され始め、全国に広まりました。

こ ころ ぜんご ちい
子どもの頃は 5cm前後と小さいです

くらい じゅみょう
が、30cm 位まで大きくなります。寿命

ねんいじょう なが か
も30年以上と長いため、飼うことがきな

そと はな か めし
くなり外に放してしまう飼い主がたくさん

います。



おお
大きくなったアカミミガメ

このため、野生のアカミミガメの数はどんどん増えています。反対に、も

につぼん かず へ えさ めぐ
ともと日本にいるクサガメやイシガメの数は減っています。餌などを巡っ

きそ あ けっか かず すく さかな
て競い合った結果、クサガメやイシガメの数が少なくなったり、魚や

しょくぶつ ほか せいぶつ えいきょう およ かんが
植物などその他の生物にも影響を及ぼしていると考えられています。

やせい ほかく くじょ
そこで、野生のアカミミガメを捕獲し駆除する

たいさく おこな ふ い
などの対策が行われています。増えすぎた生き

もの へ しぜんかんきょう まも たいせつ
物を減らして自然環境を守ることは大切で

す。しかしアカミミガメが増えすぎた原因は

にんげん つみ わす
人間にあり、カメに罪はないということを忘れて

てはいけません。



生き物を飼うときに気を付けること

しぜんかんきょう まも
～自然環境を守るために～

アカミミガメのように、もともといなかった地域に人間
によって持ち込まれた生き物を「外来生物」といいます。

アメリカザリガニや、外国産カブトムシ、外国産クワガ
タムシも外来生物です。また国内でも、もともといなかった
地域に持ち込まれるとその生物は外来生物となります。



アメリカザリガニ



フェレット



グリーンイグアナ

日本の自然環境を壊す恐れのある外来
生物には、ペットとして飼われている生き物
もたくさんいます。例えばフェレット、グッ
ピー、グリーンイグアナなどです。飼われて
いた場所から逃げ出したり、飼い主が外に逃
がしてしまい、問題となっています。

飼えなくなったからといって外に逃がす
ことは、その生き物のためにも、他の生き物
のためにも絶対にしないようにしましょ
う。生き物を飼うときは、その生き物に合っ
た環境で、死ぬときまで責任をもって飼っ
つづけることができるのかを考へるよう
にしましう。

生き物を飼う前の チェックポイント！

- ①どのくらい大きくなるのか
大きさにあった住処を用意してあ
げられますか？
- ②どのくらい長生きするのか
最後までお世話をしてあげられま
すか？
- ③どのような性質なのか
噛みついたり、人に慣れない性質
の生き物もいます。